

ほったらかし温泉

Hottarakashi Onsen
(山梨県山梨市)



あっちの湯の外観



こっちの湯の外観

午前 3 時過ぎ。あたりはまだ真っ暗である。フルーツ公園を通り抜け、どんどん高度を上げていく。3:30、今回紹介するほったらかし温泉に到着した。

駐車場にはすでに 20 台ほどの自動車やバイクがある。建物がある方へ歩いて行くと、みずばらしい建物が複数ある。トイレ、無料の休憩室もあり、夜通し利用可能のようである。

ほったらかし温泉は、日の出と夜空を見ながら入浴できる露天風呂として有名である。あまりに有名になったせいか、新しい温泉を掘って、2 つも温泉を抱えることになった模様だ。古い方が「こっちの湯」で、新しい方が「あっちの湯」である。今回紹介するのは、後者だ。

3:51、開店した。フロントと下駄箱のある建物は仮設材料で作られている。脱衣室と内湯はプレハブ小屋だ。脱衣室にはコインロッカーが 90 個。100 円を投入するタイプで、100 円は戻らない。これ以外に籠が 100 個近く置いてある。洗面台は 6 個。混雑すると、脱衣室はかなり狭い。

内湯は洗い場が 24 箇所。整然と並んでいる。シャワーは 3 箇所。浴槽は定員 15 人くらいだろうか。適温だ。

さて、この温泉のハイライトは何ととっても露天風呂だ。甲府盆地を見下ろす場所に 2 つの露天風呂がある。手前が四角い浴槽で、奥が岩風呂だ。定員は前者が 20 人、後者が 50 人ほどだろうか。

フロントによれば、本日の日の出は 4:50 より少し前だという。日の出までの 1 時間弱を露天風呂で過ごす。甲府盆地の夜景が次第に明るくなっていく。体がのぼせてくる頃、やっと日の出の時間となった。しかし、東の空は雲で覆われており、日の出は拝めなかった。残念である。

天気の良いければ、あっちの湯からは大菩薩嶺や富士山が見えるという。また、こっちの

湯からも富士山が見えるそうだ。

それにしても、この温泉に来る人達は熱心である。日の出前の朝 4:00 から温泉にやってくるのだから。日の出の頃には、岩風呂の露天風呂には 26 人、四角い浴槽の露天風呂には 18 人がおり、脱衣室も満員であった。

客層はなぜかほとんどが若者。ワビサビが好きなおっさん世代には、豪快すぎる温泉なのかもしれない。

ちなみに、ほったらかし温泉の湯はアルカリ性単純温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという

ほったらかし温泉は「ほったらかし」と言えるほどほったらかしにはされていない。清潔に維持されているので心配は無用である。

- **名称**：ほったらかし温泉
- **所在地**：山梨県山梨市矢坪 1669-18
- **電話**：0553-23-1526
- **あっちの湯営業時間**：日の出 1 時間前～22:00（最終受付 21:30）
- **こっちの湯営業時間**：平日 10:30～17:00（最終受付 16:00）、土日祝日 10:30～22:00（最終受付 21:30）
- **定休日**：無休
- **入浴料**：大人（中学生以上）700 円、小人（乳児～小学生）400 円（あっちの湯とこっちの湯は、それぞれ別会計）
- **サウナ**：なし
- **テレビ**：なし
- **取材日**：2012 年 6 月 24 日（日）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部